TOKYO NATIONAL MUSEUM NEWS

東京国立博物館ニュース

展示と催し物案内［第721号］

2013
10-11

2 特別展「上海博物館 中国絵画の至宝」
3 特集陳列「清時代の書―碑学派―」
4 特別展「京都―洛中洛外図と障壁画の美」
5［予告］クリーブランド美術館展―名画でたどる日本の美／［予告］「人間国宝展―生み出された美、伝えゆくわざ―」
6・11 総合文化展 見どころ案内 2013年10月・11月／特集陳列「江戸城」／特集陳列「描かれた風景―憧れの真景・実景への関心―」
特集陳列「日本の仮面 能面 是閑と河内」／東京都指定有形文化財 虫豸帖／本館・東洋館・平成館・法隆寺宝物館
10 保存と修理情報⑲
12・13 みどりのライオン 教育普及事業［講演会／ワークショップ／アートスタジオ ほか］
14 INFORMATION
15 TOPICS
16 東京国立博物2013年10月・11月の展示・催し物

TNM

東洋館リニューアルオープン記念

特別展

上海博物館 中国絵画の至宝

Treasures of Chinese Painting from the Shanghai Museum

東洋館8室

10月1日(火)

|

11月24日(日)

難しそうに見える中国絵画。でもツボが分かると一気に楽しさがひろがります。展覧会の担当研究員、塚本麿充が上海博物館の名宝から特に見逃せない3件を選んで解説します。

線の潔さに、文人の精神をみる

一級文物 九歌図巻(部分)

張渥筆　元時代·14世紀　過雲楼寄贈　上海博物館蔵　展示期間:10月29日(火)~11月24日(日)

息の詰まるような細い線で九人の神様を描いています。このように線だけで完成された作品は、「白描画」と呼ばれ、文人の精神を表現する重要な画法でした。実際の作品をご覧になれば、その線の迫力を感じていただけるでしょう。決してただの下書きではありません。白描画の名手·張渥の作品です。

雪舟が師事した宮廷画家の代表作

一級文物 琴高乗鯉図軸

李在筆　明時代·15世紀　上海博物館蔵　全期間展示

琴高という仙人が鯉に乗って現れ、弟子たちは驚きの表情でその瞬間を見つめています。波をたて、風を起こす劇的な一瞬を、激しいながらも的確な墨法で見事に描き出しています。中国絵画のバロックとも言うべき明代宮廷画院の巨匠、李在の作品です。わが国の画聖、雪舟が師事したのも、この李在でした。

世界にたった2点の貴重な作品

一級文物 竹石集禽図軸(部分)

王淵筆　元時代·至正4年(1344)　上海博物館蔵

展示期間:10月29日(火)~11月24日(日)

全体を渇墨で、鳥たちの羽毛の一枚一枚まで精密に描いています。精巧ですが、全体はすっきりとしていて、文人画の雅趣が漂います。文人画と職人画のよさを統合させた名品です。元時代の文人画家·王淵の作品は世界に二点しかなく(もう一点は昨年、特別展「北京故宮博物院200選」で来日しました)、大変貴重な作品です。

特別展「上海博物館 中国絵画の至宝」

10月1日(火)~11月24日(日)
東洋館8室

主催:東京国立博物館、上海博物館、日本経済新聞社、毎日新聞社
協力:全日本空輸
総合文化展料金でご覧いただけます。
＊障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。
＊お問合せ:
ハローダイヤル　03-5777-8600

関連イベント

講演会

特別展「上海博物館　中国絵画の至宝」
10月12日(土)13:30 ~ 15:45(途中休憩15分、開場は13:00を予定)
会場:平成館大講堂　**定員**:380名(先着順)　**聴講料**:無料(ただし、当日の入館料は必要)

❶ 13:30 ~ 14:30
「中国絵画史の正統と異端ー上海博物館の名品からー」(月例講演会)
講師:塚本麿充(東洋室研究員)
東洋館のリニューアルを記念して上海博物館から中国絵画史を代表する珠玉の名品がやってくる特別展の見どころを、文人たちの「正統」と「異端」という切り口からお話します。

❷ 14:45 ~ 15:45
「唐寅山水画の視覚形式—「春游女几山図」を例に—」(逐次通訳)
講師:李維琨(上海博物館書画部副主任 研究員)
明時代に蘇州で活躍した唐寅は、「江南第一風流才子」と自称し、詩画と妓女を好んで放蕩に満ちた生活を送った、今も中国で最も高い人気を誇る文人です。その山水画の知られざる魅力をお話します。

リレートーク「上海博物館の中国名画、私の見方」

出品作品の魅力を、リレー形式で4回にわたってご紹介します。
会場:東洋館8室
時間:18:00 ~ 19:00
聴講料:無料(ただし、当日の入館料は必要)
講師:
10月11日(金)
湊信幸(東京国立博物館客員研究員)
10月25日(金)
宮崎法子(実践女子大学教授)
11月 8日(金)
塚本麿充(東京国立博物館研究員)
11月22日(金)
板倉聖哲(東京大学東洋文化研究所教授)

◉は国宝、◎は重要文化財、○は重要美術品を表します。とくに表記のないものは東京国立博物館所蔵です。

東京国立博物館・台東区立書道博物館　連携企画

特集陳列

清時代の書―碑学派―

平成館
企画展示室

10月8日(火)
｜
12月1日(日)

王羲之の書を覆した人々

この度、東京国立博物館・台東区立書道博物館の2館連携企画として、「清時代の書―碑学派―」を開催します。

清時代には考証学の盛行を背景に、書においても金石資料が注目され、王羲之を中心とする法帖に代わって、青銅器の銘文や石碑の書などが尊ばれるようになりました。金石に書の拠りどころを求めた人たちを「碑学派」と称し、これまで法帖を学んでいた「帖学派」と区別しています。

彼らは、はじめ唐時代の楷書や漢時代の隷書に注目していましたが、やがて山野に埋もれていた青銅器や石碑にも視野を広げ、野趣あふれる楷書や篆書・隷書を中心とする、新たな書風を形成しました。

さらに、台東区立朝倉彫塑館でも、会場の一角に清時代の書にあわせたコーナーを設けます。従来の書の流れを大きく変えることとなった、清時代の碑学派。学問に裏付けられて生まれた、碑学派の書の魅力を、3つの会場でたっぷりとお楽しみください。（富田淳）

楷書嬌舞倚床図便面賦軸
包世臣筆　清時代・18～19世紀
東京国立博物館にて展示
鄧石如に師事して、自らも『芸舟双楫』を著し、碑学派の普及に大きな役割を果たしました。

■特別講演会「清時代の書－日本と中国の交流－」

日時:10月13日(日)13:30～15:00(13:00開場予定)
詳細は本誌12ページ参照

■列品解説「清時代の書―碑学派―」

日時:10月29日(火)14:00～14:30(13:00開場予定)
詳細は本誌12ページ参照

■ワークショップ「清時代の書に挑戦！」

展示作品の文字を集めてつくったお手本のなかから、自分の好きなものを選んで、色紙や団扇に書いてみよう！東京国立博物館と台東区立書道博物館でそれぞれ開催します。出来上がった色紙や団扇は、お持ち帰りいただけます。

東京国立博物館(事前申込制)

日時:10月19日(土)①10:00～11:30、②14:00～15:30
10月20日(日)、③10:00～11:30、④14:00～15:30
会場:本館地下 教育普及スペースみどりのライオン
対象:小学3～6年生とその保護者のペア
定員:各回10組20名(応募者多数の場合抽選)
参加費:無料(ただし当日の入館料は必要)
申込方法:当館ウェブサイト上のフォームか往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に、参加者全員の氏名(2名まで)、ふりがな、年齢、代表者の郵便番号、住所、電話番号、希望の回を、「返信用表面」に、代表者の郵便番号、住所、氏名を明記の上、下記申込先にお送りください。
申込先:〒110-8712　東京都台東区上野公園13-9　東京国立博物館教育普及室「清時代の書に挑戦！」係
申込締切:10月7日(月)必着

台東区立書道博物館(申込不要)

日時:10月29日(火)、11月17日(日)の開館時間中随時
対象:どなたでも　**参加費**:100円
＊定員はありません。

会場:東京国立博物館(平成館企画展示室)、
台東区立書道博物館
開催期間:10月8日(火)～12月1日(日)
前期:10月8日(火)～11月4日(月・休)
後期:11月6日(水)～12月1日(日)
前期・後期で一部展示替えがあります
＊台東区立朝倉彫塑館 関連作品の展示期間
10月29日(火)～12月26日(木)
主催:東京国立博物館、公益財団法人台東区芸術文化財団(台東区立書道博物館、台東区立朝倉彫塑館)
平成25年度 文化庁 地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業

秋の庭園開放

10月26日(土)～12月8日(日)、本館北側の庭園を開放します。トーハクの庭園の見どころは、桜の時期だけではありません。楓や銀杏が鮮やかに色付く秋の景色にも定評があります。期間中には、国宝 観楓図屏風(11月12日(火)～12月8日(日) 本館2室)や、重文 小袖 白綾地秋草模様(10月16日(水)～12月8日(日) 本館10室)なども展示。博物館で、日本の秋をご堪能ください。

10月26日(土)～12月8日(日)10:00～16:00
庭園入口:(1)本館を正面に見て右側、レストランゆりの木脇
(2)本館を正面に見て左側、平成館との間
入園無料(ただし、入館料は必要)
＊お茶室の中に入ることはできません。また、お茶室貸出利用時はお茶室を間近でご覧いただけない場合もございます。
＊荒天時ならびにその翌日は庭園開放は中止となる場合があります。庭園開放中止の場合は、正門の掲示にてお知らせいたします。

◉観楓図屏風
狩野秀頼筆
室町～安土桃山時代・16世紀

◎小袖
白綾地秋草模様
尾形光琳筆
江戸時代・18世紀

この秋話題の
特別展
いよいよ開幕!

日本テレビ開局60年 特別展 京都 洛中洛外図と障壁画の美

第1部、第2部の見どころとその作品をピックアップします。

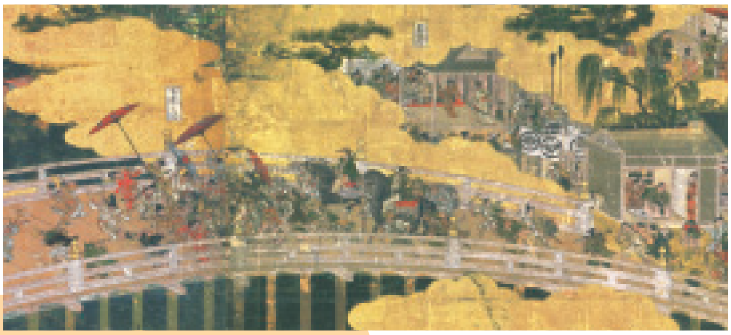
平成館
10月8日(火)
｜
12月1日(日)

第1部 都の姿―黄金の洛中洛外図

京都の市中（洛中）と郊外（洛外）の様子を高い視点から見下ろして描いたものが「洛中洛外図」です。この展覧会では狩野永徳が手がけた「洛中洛外図」の最高峰、国宝「上杉本」や、現世を謳歌する人々が生き生きと描かれた、重文「舟木本」など、国宝、重要文化財の洛中洛外図屏風7件全てを展示します。(*)ここでは、黄金につつまれた400年前の都の姿を俯瞰していただきます。

*会期中展示替があります。

◉洛中洛外図屏風　上杉本
下京隻第2·3扇（部分）
狩野永徳筆　室町時代·16世紀
山形·米沢市上杉博物館蔵　前期展示（10月8日（火）～11月4日（月·休）
祇園祭のハイライトの山鉾（やまぼこ）巡行、そしてクライマックスの神輿（みこし）渡御（とぎょ）



◎洛中洛外図屏風
舟木本　右隻第4·5扇（部分）
岩佐又兵衛筆
江戸時代·17世紀　全期間展示
大坂の陣直前の緊張感漂（ただよ）う京都で、花見帰りに浮かれ、踊り騒ぐ集団

第2部 都の空間装飾―障壁画の美

京都を一望した後、こんどは「洛中洛外図」に描かれた京都御所、龍安寺、二条城の建物のなかに入っていただきます。石庭で世界的にも知られる龍安寺の襖絵や徳川将軍家の権力を誇る二条城二の丸御殿の障壁画は、当時の配置を生かしながら再現展示します。

かつての京都の美的空間をまさに実感いただけるでしょう。

（松嶋雅人）

列子図襖
江戸時代·17世紀
アメリカ·メトロポリタン美術館蔵
© The Metropolitan Museumu of Art.
Image source : Art Resource, NY
龍安寺の黄金の障壁画。風を自由に操る仙人·列子（れっし）がお堂を荘（しょう）厳（ごん）します

◎松鷹図　二の丸御殿
大広間四の間障壁画　西側（部分）
狩野探幽筆
江戸時代·寛永3年（1626）
京都市（元離宮二条城事務所）蔵
巨大な鷲が居並ぶ諸大名を威圧して、徳川将軍の武威をみせつけます

日本テレビ開局60年 特別展「京都－洛中洛外図と障壁画の美」
10月8日(火)～12月1日(日)　平成館

主催:東京国立博物館、日本テレビ放送網、読売新聞社
特別協賛:タマホーム　**協賛**:光村印刷、日本興亜損保
協力:全日本空輸、日本貨物航空、日本通運、JR東日本、BS日テレ、シーエス日本、ラジオ日本、J-WAVE、文化放送、テレビ神奈川、楽天トラベル、京都市
技術協力:キヤノン、キヤノンマーケティングジャパン、JVCケンウッド、凸版印刷
観覧料金:一般1,500円（1,300円／1,200円）、大学生1,200円（1,000円／900円）、高校生900円（700円／600円）
*（　）内は前売り／20名以上の団体料金。中学生以下無料
*障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。
*前売券の販売（東京国立博物館正門チケット売場〈窓口、開館日のみ閉館の30分前まで〉）は10月7日(月)まで
*金曜日と11月2日(土)、3日(日·祝)は20時まで。11月4日(月·休)は18時まで特別夜間開館
***お問合せ**:ハローダイヤル　03-5777-8600
展覧会ホームページ: http://www.ntv.co.jp/kyoto2013/

関連イベント

企画チケット
「秋のスペシャルナイト 3Dプロジェクションマッピング付き」2728枚限定チケット
日時:10月16日（水）、17日（木）
18:00～21:00（展示室への最終入場20:30）
「プロジェクションマッピング」(本館と東洋館に洛中洛外図屏風　舟木本を投影）は18:10～20:20（約5分間の映像をループ上映予定）
販売価格:2,400円（税込）ローソンチケット（Lコード33900）にて9月20日より販売開始
*マッピング映像DVDもプレゼント
昨年12月、東京駅のマッピング「TOKYO HIKARI VISION」で大きな話題を呼んだクリエーター村松亮太郎が、「洛中洛外図屏風 舟木本」に描かれた400年前の京を「空間」として表現します。洛中洛外図に描かれた一人になった気分で、体験してみてください。

本展公式アプリ
「洛中洛外図屏風　完全版」
配信中!
高精細画像を使って「洛中洛外図屏風　舟木本」の細部に迫り、当時の風習、文化、ファッションなどをQ&Aで分かりやすく紹介します。
対応端末:iPhone、iPad、iPad touch　**価格**:450円

無料アプリも配信中
https://itunes.apple.com/jp/app/id636431131

クリーブランド美術館展
名画でたどる日本の美

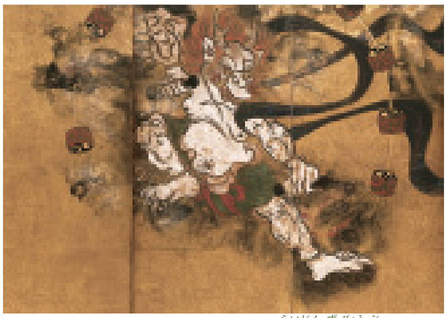
予告

平成館
特別展示室
第1・2室

2014年
1月15日(水)
｜
2月23日(日)

アメリカ・オハイオ州エリー湖の南にあるクリーブランド美術館の日本美術コレクションは、全米屈指の規模と質を誇っています。そのコレクションより平安時代から幕末に至る、選りすぐりの日本絵画を紹介します。

展覧会は、仏画や肖像画などの人体表現、咲き誇る花々や鳥たちをあらわした花鳥画、そして名所や胸中の理想の風景を描いた山水画と物語絵画の四つのテーマで構成されます。日本の絵画が「人」と「自然」をどのように表現したかを、クリーブランド美術館の名画によってたどります。そして、このテーマにあわせて、クリーブランド美術館のとっておきの中国や西洋近代の絵画もあわせて展示しますので、日本絵画の特色がより鮮やかに浮かび上がることでしょう。（松嶋雅人）



雷神図屏風（部分）
「伊年」印　江戸時代 17世紀　クリーブランド美術館蔵
獣のような顔の雷神様。恐れ慄くというよりは、どこか憎めない表情

地獄太夫図
河鍋暁斎筆
明治時代・19世紀
クリーブランド美術館蔵
世界を魅了した暁斎の美人図。筆技が冴えわたり妖艶さを極める

Photography © The Cleveland Museum of Art

「クリーブランド美術館展―名画でたどる日本の美」
2014年1月15日(水)～2月23日(日)　平成館 特別展示室第1･2室
主催:東京国立博物館、クリーブランド美術館、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社
協賛:日本写真印刷
協力:全日本空輸

日本伝統工芸展60回記念
人間国宝展
生み出された美、伝えゆくわざ

予告

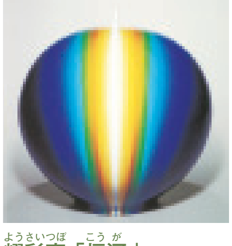
平成館
特別展示室
第3・4室

2014年
1月15日(水)
｜
2月23日(日)

日本では、伝統の「わざ」を受け継ぎ、日本が誇る工芸の発展に尽くした工芸家を「人間国宝」（重要無形文化財保持者）に認定しています。このような制度は他国にはなく、工芸大国である日本ならではといえるでしょう。

多くの人間国宝を育ててきた「日本伝統工芸展」の六十回記念として「人間国宝展」を開催いたします。人間国宝に認められた全物故作家の作品を展示し、卓越した日本の工芸のわざの美をご覧いただきます。さらに本展では、古代から、中世、近世へと連綿と伝えられてきた国宝や重要文化財を含む工芸品を、人間国宝の作品と向き合わせて展示することとしました。平成館企画展示室の特集陳列では、現在も活躍中の人間国宝作家の作品を展示いたします。伝統と現代とのつながりを見る、これまでにない画期的な展覧会です。（小山弓弦葉）

小川紙漉村文着物
芹沢銈介
昭和18年（1943）
静岡市立芹沢銈介美術館蔵
芹沢銈介は紅型の技に学びつつ、無名の人々の営みを文様と化す新境地を拓きました



耀彩壺「恒河」
三代徳田八十吉
平成15年（2003）小松市立博物館蔵
九谷色絵の技は「宇宙の神秘やエネルギーの表現」へと昇華します

日本伝統工芸展60回記念
「人間国宝展―生み出された美、伝えゆくわざ―」
2014年1月15日(水)～2月23日(日)　平成館 特別展示室第3･4室
主催:東京国立博物館、文化庁、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社、日本工芸会
協賛:花王、日本写真印刷

2展共通情報

■観覧料金（各展単独）
一般1,000円(800円)、大学生800円(600円)、高校生600円(400円)
＊(　)内は20名以上の団体料金
＊単独の前売販売はいたしません。前売は2展共通観覧券、3展共通一般前売券の販売のみです。

■東京国立博物館開催の2展共通観覧料金
一般1600円(1,400円)、大学生1,400円(1,200円)、高校生1,000円(800円)　中学生以下無料
＊(　)内は前売り・20名以上の団体料金
＊障がい者とその介護者一名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。
＊前売券は、東京国立博物館 正門チケット売場(窓口、開館日のみ、閉館の30分前まで)のほか、展覧会公式ホームページ、チケットぴあなど主要プレイガイドにて、10月1日(火)～2014年1月14日(火)まで販売。
お問合せ:ハローダイヤル　03-5777-8600
展覧会ホームページ:http://www.nichibisai.jp/

日本美術の祭典

東京国立博物館と東京都美術館のコラボレーションにより、両館で開催される三つの展覧会を結ぶ特別なプロジェクト「日本美術の祭典」が実現します。当館では右の二つの特別展を同時開催。そして東京都美術館では、日本美術院再興100年特別展「世紀の日本画」を開催します。

時代を超えて輝きを放つ絵画や工芸の名品に触れることで、さまざまな日本の美を再発見していただこうという新しい試みです。ぜひ三展あわせてお楽しみください。

東京国立博物館・東京都美術館開催の三展共通一般前売券
三展セットで2400円　一般のみ発売
東京国立博物館 正門チケット売場（窓口、開館日のみ、閉館の30分前まで）のほか、展覧会公式ホームページ、チケットぴあなど主要プレイガイドにて、10月1日(火)～2014年1月14日(火)まで販売。

注目の特集

壮大な規模を誇った江戸城の威容

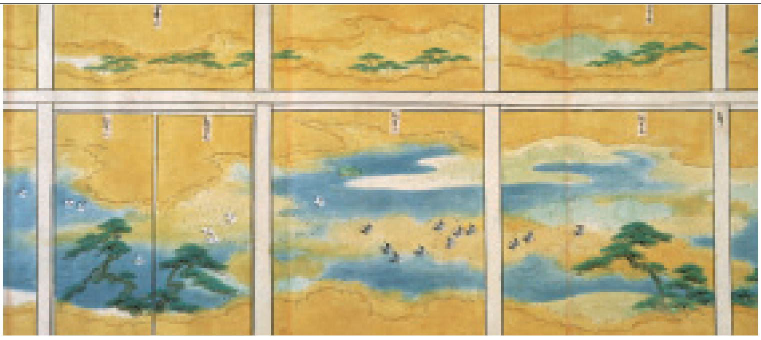
特集陳列
「江戸城」
10月22日(火)～12月23日(月・祝)
● 本館　16室

家康・秀忠・家光の徳川三代にわたる天下普請によって築城された江戸城。

その規模は壮大で、外郭は総延長一四キロメートルに達するほど。また本丸を中心とした城内の建物も広大でした。江戸城は壮大なだけでなく、建物内部には華麗な装飾が施されており、たび重なる火災焼失にもかかわらず、天守閣を除き元の姿に再建されます。

本特集陳列では、最新の発掘成果も交え、往時の江戸城の姿を御殿内の装飾下絵や建築指図・古写真などで振り返ります。

また、10月23日(水)～3月2日(日)まで東洋館ミュージアムシアターで迫力ある再現映像を公開します。（冨坂賢）



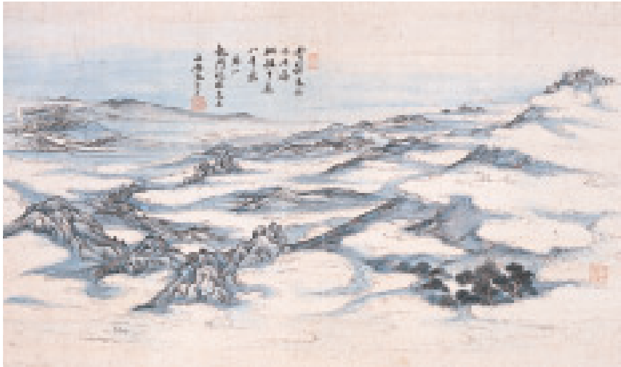
江戸城障壁画　本丸松廊下　伺下絵
狩野探淵・住吉弘貫筆　江戸時代・弘化2年(1845)
忠臣蔵の発端となった「刃傷松の廊下」はこのような装飾襖でした

＊ミュージアムシアターのプログラムについては15ページをご覧ください。

中国・西洋の影響による、新たな挑戦

特集陳列
「描かれた風景―憧れの真景・実景への関心―」
10月29日(火)～12月8日(日)
● 本館特別1・2室

古来日本の風景は、多くが和歌や詩歌に詠まれた歌枕の名所として、実際の景観とは異なるイメージで描かれてきました。しかし江戸時代、特に十八世紀になると、実景に対する関心が高まり、画家自身もまた、自らの旅の体験や感興をもとに風景を描くようになります。その際に用いた構図や描法は、当時長崎を通じて舶来した、中国や西洋の新しく刺激的な文物の影響によるものでした。新たな視覚、そして新たな画材や技法を手に入れた画家たちが、日本の風景をどのように描いたのか……。江戸時代の多彩な実景表現をお楽しみください。（客員研究員 大橋美織）



浅間山真景図
池大雅筆　江戸時代・18世紀　個人蔵
大自然を前に大雅の感動が描かれる

是閑と河内二人の個性を比較

特集陳列
「日本の仮面　能面　是閑と河内」
11月19日(火)～2014年2月16日(日)
● 本館　14室

能面の作家を面打と言います。能は面を使う芸能ですから芸能としての歴史とともに面打の歴史もありますが、室町時代以前は資料も少なく、よくわかっていません。安土桃山時代ころから、その職を世襲するようになり、面裏に名前を入れた焼印を押すことが広まり、手がかりが増えます。今回は、近世の面打の中でも特に名手と並び称される是閑と河内の面を集めました。是閑は能楽に傾倒した豊臣秀吉から「天下一」の号を授かり、河内は目利きから「無類最上の名人」と評された人です。二人の個性を比べて見てください。（浅見龍介）

能面　増女
「天下一是閑」焼印 奈良・金春座伝来
安土桃山～江戸時代・16～17世紀

能面　十六
「天下一河内」焼印
江戸時代・17世紀

風流大名の宝箱が東京都指定有形文化財になりました

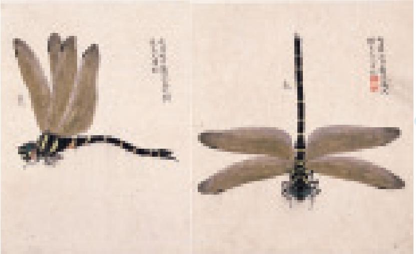
虫豸帖（ちゅうちじょう） 増山雪斎筆（ましやませっさい）

本館8室 10月1日(火)～11月10日(日)

詩や絵を得意とし、木村蒹葭堂や大田南畝など文人達との交流で知られる伊勢長島藩第六代藩主、増山雪斎（一七四五～一八一九）の描いた博物図譜です。『和漢三才図会』に、小さな生物のうち足のあるものを虫、足のないものを豸という、とあります。「虫豸帖」は、春・夏・秋・冬の4帖に仕立てられていますが、季節に関係なく、蝶や蜻蛉、蝉、蛾、蜘蛛、魚、蛙など多種多様な虫と豸の図が種類で分類され貼り込まれています。蝶の鱗粉の質感を出すために金銀泥や雲母が使われ、表裏の図が組み合わされた精緻な描写は、ほとんどが種類の識別可能な正確さを示しているそうです。科学者の眼差しは、生き物の美しさを発見した芸術家の眼差しでもあったのです。

虫のほとんどは巣鴨の藩邸で採集されたもので、雪斎は、写生した虫の死骸を供養したいと小箱にしまっていました。没後にその遺志により建てられたのが、現在上野寛永寺にある「虫塚」です。

（田沢裕賀）



虫豸帖
増山雪斎筆 江戸時代・19世紀
＊11月9日（土）関連講演会を開催。詳細は本誌12ページ参照

寛永寺 虫塚
文政4年（1821）建立
上野・桜木寛永寺境内にあります。当館正門から徒歩10分

東京文化財ウィーク2013

この秋、文化の日を中心に都内全域で文化財の公開や文化財に関わる様々な企画事業を実施する「東京文化財ウィーク」が開催されます。（特別公開事業10月26日（土）～11月4日（月・休）、企画事業10月1日（火）～11月30日（土））「虫豸帖」も東京都有形文化財に指定されたことを記念して、この期間に公開いたします。このほか当館では、企画事業として特集陳列「江戸城」（本誌6ページ参照）ほか期間内の講演会、通年公開事業として本館、表慶館などの建築も参加しています。文化財ウィークの事業全般については東京都のホームページまたは、ガイドブックをご覧ください。

ユリノキちゃんのワンポイントコーナー

Q 東京都指定有形文化財ってなに？

：ユリノキちゃん、チョウやトンボがいっぱい描いてあるほ。きれいだほー！
：虫豸帖（ちゅうちじょう）ね。江戸時代のお殿様が描いたのよ。
：ちょうちょうちょう？
：ちゅうちじょうよ。今度東京都の指定有形文化財になった昔の博物図鑑なの。
：東京都の指定有形文化財ってなんだほ？
：国が国宝や重要文化財を指定するのと同じように、都や県などの地方公共団体も、その区域内にある文化財を守るため、そしてみんなで文化を楽しむことができるようにするために、とくに重要なものを指定することができるのよ。
：指定されるとなにかいいことあるのかほ？
：都や県が文化財の保管や修理についてアドバイスしたり、必要な場合は補助金を出したり、それから、みんなで文化財を見ることができるように所蔵者に公開してくださいってお願いしたりするの。
：トーハクのちゅうちゅうちょうも大事な文化財だから選ばれたんだほ。
：そうよ、トーハクくん。でも、ちゅうちゅうちょうじゃなくてちゅうちじょうね。
：もしも、ちゅちゅちゅちょうが国の重要文化財に指定されたらどうなるんだほ？
：トーハクくん ワザと言ってるでしょ☆ まいっか。その場合は、都の指定文化財ではなくなって国の重要文化財になるのよ。
：ぼくも大切なものを指定して、ずっと守っていくんだほ。
：トーハクくんの大切なものって何かしら？
：ぼくの指定文化財は、「トーハクくんのはにわクッキー」だほ。

ミュージアムショップにて、絶賛発売中!!

10/1 火 ─ 12/8 日

必見

◎樫鳥糸肩赤威胴丸

室町時代・15世紀　秋田一季氏寄贈

種々の技巧の粋を尽くした胴丸で、中世の甲冑を代表する名品です

4 茶の美術

─ 11/10 日　風炉の季節の茶事を想定しながら道具をとりあわせて紹介します。

黒釉文琳茶入 銘 望月

必見

薩摩 江戸時代・18世紀

松永安左エ門氏寄贈

薩摩焼を代表する文琳形茶入。「望月」の銘のとおり、円満な形が印象的です

必見

志野茶碗 銘 振袖

美濃　安土桃山～江戸時代・16～17世紀

白肌を透かして薄の文様がうっすら見える、瀟洒な作品です

術の流れ

江戸まで、
どる日本美術史

3-3 禅と水墨画 ── 鎌倉～室町

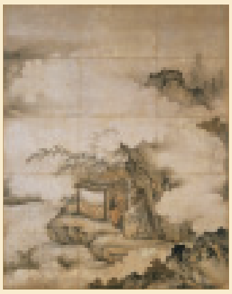
10/29 火 ─ 12/8 日

必見

四季花鳥図屛風

狩野元信筆　室町時代・16世紀　個人蔵

広い空間の中で鳥が躍動するさまをいきいきと描いています



─ 10/27 日

必見

◎祖師図（香厳撃竹）

伝狩野元信筆　旧大仙院方丈障壁画　室町時代・16世紀

もと大徳寺の塔頭、大仙院の障壁画で、唐時代の祖師が描かれています

3-2 宮廷の美術 ── 平安～室町

10/29 火 ─ 12/8 日

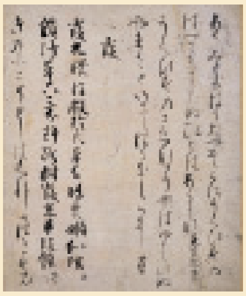
唐紙和漢朗詠集切

広田松繁氏寄贈

藤原伊房筆　平安時代・11世紀

平安時代中期を代表する能書、世尊寺家第3代・藤原伊房による和漢朗詠集です

必見



─ 10/27 日

必見

◎土蜘蛛草紙絵巻　鎌倉時代・14世紀

平安時代の武将・源頼光が京都洛北に住まう妖怪たちを退治する物語

3-1 仏教の美術 ── 平安～室町

10/29 火 ─ 12/8 日

法隆寺宝物館での国宝 聖徳太子絵伝展示に合わせ、関連作品を展示します。

必見

聖徳太子立像（孝養太子）

鎌倉時代・13～14世紀

愛知・本證寺蔵

右手に笏、左手に柄香炉を持つ姿は、真宗寺院独特の姿です

─ 10/27 日

◎法華経（久能寺経）安楽行品

平安時代・12世紀

平家納経と並ぶ平安時代装飾経の名品

必見

2 国宝室

10/8 火 ─ 11/10 日

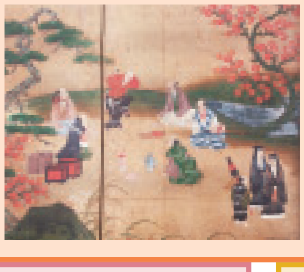
必見

◉遺告

良源筆　平安時代・天禄3年（972）

京都・廬山寺蔵

良源61歳の時に書かれた遺言状の草稿で、抹消や加筆訂正などが著しく、良源が必死に記した様子がうかがわれます



11/12 火 ─ 12/8 日

必見

◉観楓図屛風

狩野秀頼筆　室町～安土桃山時代・16世紀

紅葉の名所として名高い京都洛北高雄、清滝川のほとりで輪になった男性の一群は、拍子をとりながら舞を舞い、酒宴に興じています

1-1 日本美術のあけぼの ── 縄文・弥生・古墳

─ 12/8 日　縄文土器や土偶、銅鐸や埴輪などから各時代の造形美の変遷を追います。

必見

深鉢形土器

縄文時代（後期）・前2000～前1000年

千葉県市川市 堀之内貝塚出土　個人蔵

いま花開くゆりのような優美な器形に、幾何学文が丁寧に施された縄文土器

必見

内行花文鏡

古墳時代・4世紀　静岡県磐田市 松林山古墳出土

古墳時代の倭人が、大陸の鏡に魅了されて造った大型の倭製鏡です

1-2 仏教の興隆 ── 飛鳥・奈良

10/29 火 ─ 12/8 日

必見

◎木心乾漆造釈迦如来坐像

奈良時代・8世紀

奈良・西大寺蔵

奈良時代の四仏で現存する唯一の作例。いかり肩で膝が角張り厚い点が特徴です

必見

瑜伽師地論巻第四十八（行信願経）

奈良時代・神護景雲元年（767）千葉・円福寺蔵

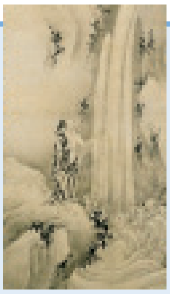
法隆寺東院伽藍の復興に尽力した僧行信が、人々を救うために発願した写経の一つです

7 屏風と襖絵 ―― 安土桃山·江戸

10/1 火 ― 11/10 日 特別展「京都―洛中洛外図と障壁画の美」にあわせて室町時代に描かれた洛中洛外図の模本などを展示します。

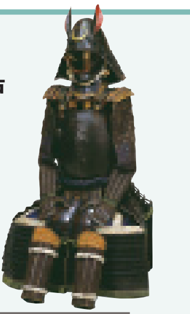
洛中洛外図屛風(模本)（らくちゅうらくがいずびょうぶ）
中村三之丞他筆 江戸時代·17世紀、原本:室町時代·16世紀
室町時代、権勢をほしいままにした権力者の館
必見

11/12 火 ― 12/8 日
安土桃山時代を代表する狩野永徳の作品と金箔地の華やかな花鳥図などを展示します



◎許由巣父図（きょゆうそうほず）
狩野永徳筆
安土桃山時代·16世紀
桃山画壇を制覇した狩野永徳の筆勢をまざまざとみせつける作品
必見

5 6 武士の装い ―― 平安～江戸



南蛮胴具足（なんばんどうぐそく）
安土桃山時代·16世紀
胴は舶来の甲冑の胴を模したもので背中に富士山を打ち出しています
必見

8-1 暮らしの調度 ―― 安土桃山·江戸

9/18 水 ― 12/8 日
季節に合わせ、菊や藤袴、楓など秋に因んだ意匠の品々を中心にご覧いただきます。

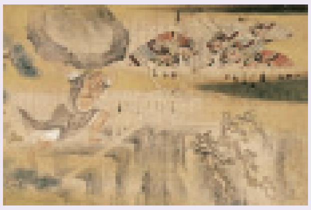
草花漆絵食籠（くさばなうるしえじきろう）
谷田忠兵衛作
江戸時代·18世紀
伊藤甲子之助氏寄贈
作者は徳島藩主蜂須賀重喜の御用を勤め、彩り豊かな作風で知られます
必見

七宝菊文木瓜形引手（しっぽうきくもんもっこうがたひきて） 江戸時代·17世紀
引手金具には七宝の優品が多く見られます。菊尽しともいえる豪華な意匠です
必見

色絵藤袴図皿（いろえふじばかまずさら）
鍋島
江戸時代·18世紀
色鍋島には、ありふれた身近な草花が、完璧な技巧で描かれます
必見

8-2 書画の展開 ―― 安土桃山·江戸

10/1 火 ― 11/10 日



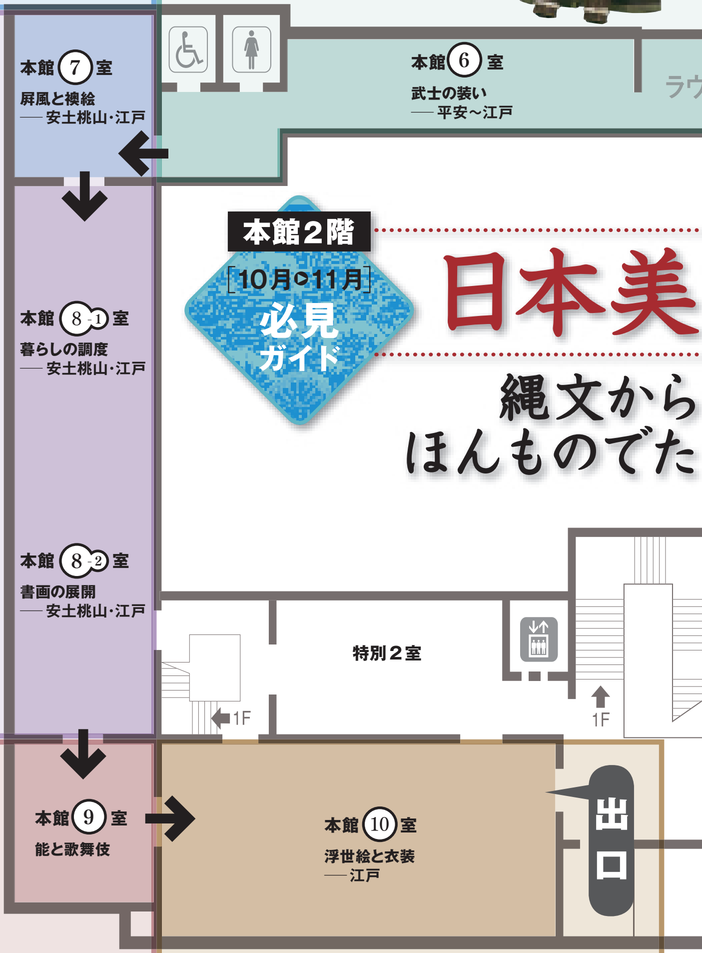
本性房怪力図（ほんじょうぼうかいりきず）
岩佐又兵衛筆 江戸時代·17世紀
又兵衛の彩り豊かに、極端に動きを強調する人物表現
必見

千字文（せんじもん）
朱舜水筆 江戸時代·寛文3年(1663)
池田大四郎氏寄贈
日本に亡命した儒学者が援助を受けた武士に贈った遺墨
必見

11/12 火 ― 2014/1/13 月·祝

○山部赤人像賛（やまべのあかひとぞうさん）
後陽成天皇筆
安土桃山～江戸時代·16～17世紀
鈴木喜代氏寄贈
天下一統の時代を生きた天皇の豪放な筆跡
必見

◎葡萄図（ぶどうず）
立原杏所筆
江戸時代·天保6年(1835)
酔いに任せて描いた奔放な蔓
必見



9 能と歌舞伎

― 10/14 月·祝 能「呉服（くれは）」に合わせて、江戸時代の能面·能装束を展示します。

長絹 緑地栗折枝蔦模様（ちょうけん みどりじくりおりえだつたもよう）
江戸時代·18世紀
袖を翻して舞う姿が美しい長絹
必見

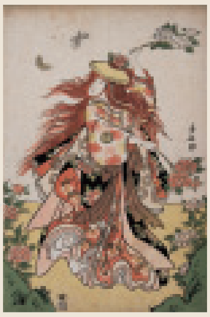
10/16 水 ― 12/8 日
江戸時代末期のお狂言師·坂東三津江の歌舞伎衣装を展示します。

四天 亀甲雲鶴龍模様（よてん きっこううんかくりゅうもよう）
江戸時代·19世紀 坂東三津江所用
高木キヨウ氏寄贈
「絵本太功記」の四天王但馬守に使用。武勇をイメージしたデザイン
必見

10 浮世絵と衣装 ―― 江戸

【浮世絵】

9/18 水 ― 10/14 月·祝
初期から晩期まで、肉筆画を加え、清長の世界を概観します。



三代目瀬川菊之丞の石橋（さんだいめせがわきくのじょうのしゃっきょう）
鳥居清長筆
江戸時代·寛政元年(1789)
清長らしい華やかで健康的な石橋
必見

10/16 水 ― 11/10 日
10/16～11/10と11/12～12/8の2回にわたって 江戸の風景版画の様相を展示です。(作品は全点入れ替わります)

東都宮戸川之圖（とうとみやとがわのず）
歌川国芳筆
江戸時代·19世紀
雲、水、そして筑波山の山容に注目
必見

11/12 火 ― 12/8 日

三囲の図（みめぐりのず）
亜欧堂田善筆 江戸時代·19世紀
橋本伝右衛門氏寄贈
銅版画による雲や煙、そして筑波山は遠くに
必見

【衣装】

― 10/14 月·祝
夏から秋の季節の変わり目にあわせて、帷子·単衣、小袖などを展示します。

帷子 玉子色麻地見立鳥に蔦模様（かたびら たまごいろあさじ みたてどりにつたもよう）
江戸時代·18世紀
蔦や笹、扇などを鳥に見立ててデザインしたユニークな光琳模様
必見

10/16 水 ― 12/8 日
秋草や紅葉模様、名所を表した風景模様の小袖や打掛などを展示します。

◎小袖 白綾地秋草模様（こそで しろあやじあきくさもよう）
尾形光琳筆 江戸時代·18世紀
尾形光琳が深川の材木商·冬木家の奥方のために描いたと伝わる
必見

東洋館
アジアを旅する

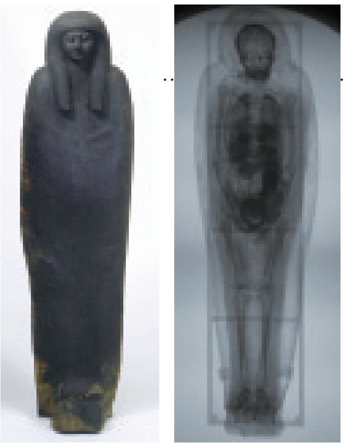
東洋館3室 西アジア・エジプトの美術

ミイラより、ご挨拶申し上げます。
パシェリエンプタハのミイラ
通年展示

僕はアンクムウトの息子パシェリエンプタハです。今から約二千九百年前、少年だった僕は病で亡くなりました。あの世でも生きていけるように、家族は僕の遺体をミイラ工房に運び、保存加工をさせました。包帯を巻かれ、「永遠」の体になった僕は亜麻布(あまぬの)の棺に入れられ、外側はカラフルな絵や銘文で飾られました。

二千八百年近くが経ちました。テーベの墓の中にいた僕を、誰かがカイロの博物館に運び込んだのです。そして一九〇四年、僕の体は英国船に載せられ、スエズから極東への旅に出ました。そこでは人々の歓迎が待っていました。辿りついたのは、日本の帝室博物館、現在のトーハクの前身でした。

（パシェリエンプタハのミイラ 代筆：後藤健）



パシェリエンプタハのミイラ
第22王朝・前945～前730年頃 エジプト、テーベ西岸出土 エジプト考古庁寄贈
故人の名は「プタハ神の息子」、彼の母の名は「生けるムウト女神」の意味です

東洋館5室 「中国の陶磁」

世界の陶磁に影響
# 青花(せいか)の名品と官窯青磁の陶片
9月3日(火)～2014年1月13日(月・祝)

中国唐・宋時代に白磁が完成してまもなく、景徳鎮窯(けいとくちんよう)において白磁胎(はくじたい)にコバルトで絵付けを施した絢爛な器の生産が始まります。青花磁器、いわゆる染付(そめつけ)です。釉下彩(ゆうかさい)の青花は美しいうえに丈夫で清潔な器であるため、世界各地の製陶および飲食文化に多大な影響を及ぼしました。

このたび東洋館5室では、元から清時代までの青花作品と、広田松繁コレクションの名品のなかから青花誕生以前の作品をご覧いただきます。また5室中央のぞきケースでは、特集展示として、昭和初期に米内山庸夫(よないやまつねお)氏によって中国で採集された官窯青磁の陶片を並べております。この機会にぜひ足をお運びください。（三笠景子）

◎青花魚藻文壺(せいかぎょそうもんつぼ)
景徳鎮窯 元時代・14世紀
田中芳男氏寄贈
明治時代、博物館の開館に力を尽くした博物学者、田中芳男の寄贈品

青花唐草文高足碗(せいかからくさもんこうそくわん)
景徳鎮窯 「大明宣徳年製」銘 中国
明時代・宣徳年間（1426～35年）
なめらかな白磁胎が美しく、明時代のなかで最も評価の高い宣徳青花の作品

東洋館13室 「アジアの民族文化」

カラフルな海のゴンドラ
# 台湾の海の民 ―タオ族の伝統文化―
10月1日(火)～2014年1月13日(月・祝)

ヴェネツィアのゴンドラのように、跳ね上がった船首と船尾。左右両側には、赤・白・黒の3色で彫刻が彩られています。

この個性的な船は、台湾本島の南東の沖合に浮かぶ小さな島、蘭嶼(らんしょ)に住むタオ族のものです。絶海の島に暮らすタオ族にとって、漁船は生活を支える道具であると同時に、精神の拠りどころでもあります。前後に飾られた円文は「船の目」と呼ばれ、船を守るものと信じられてきました。人形の文様は、神話の登場人物を表しています。模型ではありますが、遊びを通して幼い時から船の大切さを学べるように作られているのです。（川村佳男）

船模型(ふねもけい)
台湾 台東県蘭嶼制作 19世紀後半～20世紀初頭
長131.5、幅32.5センチメートル
模型は丸木舟ですが、実物は龍骨と多数の板材を組み合わせた頑丈な船

1000年後の未来に バトンタッチ！

保存と修理情報 19

文化遺産を脅かす危機について考える（その4）
―危機管理セミナー・陸前高田学校―

岩手県陸前高田市は二〇一一年三月十一日の大津波で壊滅的な被害をこうむり、市内にあった市立博物館、海と貝のミュージアム、埋蔵調査室、市立図書館の文化財約四十一万点が被災しました。これらの文化財はレスキュー活動によって、三十一万点が海岸から遠く離れた山の中にある小学校に運ばれました。文化財はすべて海水とヘドロをかぶり、多くが未だに汚染された状態です。失われた街並みや生活を復興させるためには、文化の復興が欠かせません。しかし、陸前高田市の文化財をかつてのように市民に公開するためには膨大な洗浄と安定化の作業が必要です。こうした機会に、次世代を担う保存専門家たちが現地での実体験を通じて、津波災害の深刻さ、レスキューの在り方、一時保管管理の仕方、その後の安定化処理の方法、そして最終的な本格修理と安定収蔵など、災害に対する危機管理を学び、現地スタッフとの交流を深めることを目的に、陸前高田学校を開校しました。今年は七月二十九日から八月五日まで十四名が参加しました。（神庭信幸）

和本の安定化処理に参加する研修生たち

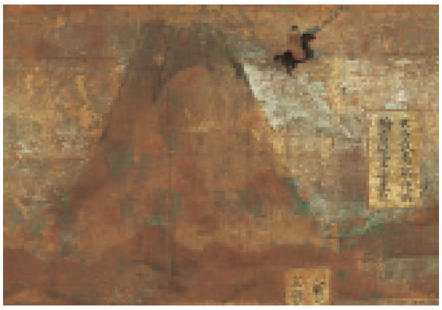
法隆寺宝物館
宝物に浸る

●法隆寺宝物館　第6室

現存最古の聖徳太子絵伝

国宝　聖徳太子絵伝

11月12日(火)～12月8日(日)



◉聖徳太子絵伝　秦致貞（はたのちてい）筆　平安時代・延久元年（1069）
黒駒に乗り、富士山を越える聖徳太子

聖徳太子は、旧一万円札に描かれたあの肖像画の人物です。その実在については虚構説も言われていますが、超人的な逸話とともに、日本における仏教信仰を興隆させた人物として信仰の対象ともなり、幅広い層に親しまれてきた歴史的意義はとても大きいものがあります。その生涯をまとめた伝記も早くから編まれ、それらを絵画化した絵伝も数多く制作されました。

本作品はそうした聖徳太子絵伝の現存最古の作例で、法隆寺東院伽藍にある絵殿の障壁画として伝来しました。現状画面の多くは後世の補彩が入っていると見られますが、本来の構図や図様は概ね伝えられていると思われ、十一世紀のやまと絵障壁画の様子を知る上でも大変貴重な作例といえます。雄大な景色の中に配された聖徳太子の物語をお楽しみください。

（沖松健次郎）

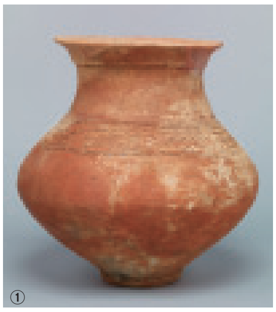
平成館
考古で遊ぶ

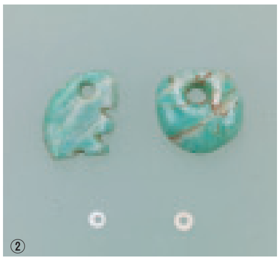
●平成館　考古展示室

平成25年度考古資料相互活用事業

特集陳列
「本州最西端の弥生文化 ―響灘（ひびきなだ）と山口・綾羅木郷（あやらぎごう）遺跡―」

10月29日(火)～2014年3月9日(日)





①弥生土器　壺
肩部の羽状文様や山形重弧文は響灘沿岸の弥生式土器の特徴です

②アマゾナイト製勾玉
韓国青銅器時代の垂飾玉に材質が似ていることが注目されています
（下は貝製小玉）

①②：山口県下関市大字綾羅木字岡ほか　綾羅木郷遺跡出土　弥生時代（前期末～中期初頭）・前3～前2世紀　山口・下関市立考古博物館

九州地方北東部から山口県に面する日本海は響灘と呼ばれ、沿岸には弥生時代前期に多くの集落遺跡が形成されます。長崎県から福岡県の日本海側には朝鮮半島から直接伝わった大陸製青銅器が分布しますが、下関地方はその主要な分布圏の東限として知られます。

本特集陳列は巨大な袋状貯蔵穴が多数調査されたことで有名な下関市立考古博物館所蔵の綾羅木郷遺跡出土品で構成しています。美しい文様をもつ土器やさまざまな石器・装身具・食料関係遺物をはじめ、各種の信仰関係遺物や日本海側の前期弥生文化に特徴的な土笛などを展示し、特色ある本州最西端の弥生文化をご紹介します。

（古谷毅）

表慶館 公開開始

館内で最も歴史の長い展示館、待望のオープン

2013 9/18より

右・南北にある階段室。曲線を描きながら続く手すりは必見です
左・エントランスホール。幾何学模様をあしらったモザイクタイルと列柱の調和がみごとです

表慶館は、二〇〇六年に屋根の保存修理が行われて七年が経とうとしています。葺き替えられた屋根は、緑青色に塗装された銅版でした。当初は違和感のあった屋根の色も随分となじんできたように感じられます。

二〇一一年の年末より改装のため休館していましたが、新たにエレベーターとトイレが設置され便利になりました。今秋九月十八日より一部を休憩室として開館予定です。

明治末期の創建から百年以上経過し現役で使用されている表慶館。エントランスや階段をはじめとした意匠は、時間をこえて訪れる人にその魅力を感じさせます。

（矢野賀一）

知る楽しみ、学ぶ喜び

講座・講演会・解説

教育普及事業

みどりのライオン
みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER　教学中心　교육센터

講演会

特別講演会「清時代の書ー日本と中国の交流ー」

日時：10月13日（日）13:30 ～ 15:00
講師：富田淳（列品管理課長）、鍋島稲子（台東区立書道博物館主任研究員）、戸張泰子（台東区立朝倉彫塑館専門員）
碑学派の書は中国のみならず、日本の書の流れも大きく変えました。中村不折や朝倉文夫など、日本における受容のエピソードもご紹介します。
＊関連展示：本誌3ページ参照

上野の山文化ゾーンフェスティバル講演会「増山雪斎の虫豸帖とファーブルの昆虫記」

当館所蔵の虫豸帖が平成25年3月25日に東京都指定有形文化財に指定されたことを記念して、講演会を実施します。
＊関連展示：本誌7ページ参照。
日時：11月9日（土）13:30 ～ 15:00
講師：奥本大三郎（埼玉大学名誉教授、日本アンリ・ファーブル会理事長、虫の詩人の館館長）
＊関連展示：本誌7ページ参照

月例講演会「聖徳太子絵伝の世界」

日時：11月23日（土）13:30 ～ 15:00
講師：沖松健次郎（絵画・彫刻室主任研究員）
日本仏教において宗派を超えて重要視される聖徳太子。その伝記は早くから数多く編まれ、伝記を絵画化した絵伝も盛んに制作されました。そうした聖徳太子絵伝の世界をご案内します。
＊関連展示：本誌11ページ参照

＊開場は開始の30分前（予定より早める場合もございます）。いずれも会場は平成館大講堂、定員380名（先着順）、聴講無料（ただし、当日の入館料は必要）。

列品解説

描かれた考古遺物 ー日本美術と近代考古学のあいだー

日時：10月1日（火）14:00 ～ 14:30
本館特別2室
講師：鈴木希帆
（登録室アソシエイト・フェロー）
あまり知られていませんが、当館の所蔵品には遺跡が描かれた大画面の油絵や出土遺物を装着した人馬の絵があります。これらの絵画が描かれた背景についてお話しします。
＊関連展示：本誌前号6ページ参照

上古時代男子図
杉山寿栄男筆
昭和12年（1937）以前

近世・近代の描かれた考古遺物 ー古物・好古と考古学ー

日時：10月8日（火）14:00 ～ 14:30
本館特別2室
講師：古谷毅（列品管理課主任研究員）
江戸時代～昭和初期における考古遺物の記録・実測図等の系譜や関係を日本最初の学術発掘を行なったE・モースの活動を軸に解説します。
＊関連展示：本誌前号6ページ参照

洛中洛外図を味わう

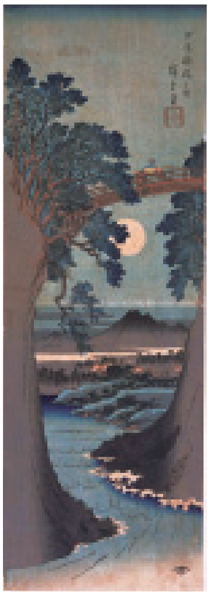
日時：10月22日（火）14:00 ～ 14:30　平成館大講堂
講師：金井裕子（特別展室研究員）
室町時代の終わりから江戸時代にかけて大流行した、京都市中や郊外の様子を描く「洛中洛外図」。その成り立ちや見どころなどをご紹介します。
＊関連展示：本誌4ページ参照

清時代の書ー碑学派ー

日時：10月29日（火）14:00 ～ 14:30　平成館企画展示室
講師：富田淳（列品管理課長）
台東区立書道博物館との連携企画。東博では、碑学派の勃興期に焦点をあてます。
＊関連展示：本誌3ページ参照

浮世絵に描かれた風景

日時：11月12日（火）14:00 ～ 14:30
本館10室
講師：田沢裕賀（絵画・彫刻室長）
初期浮絵から昇亭北寿の風景画など洋風表現の強い作品まで、江戸時代の風景版画をテーマにお話しいたします。


○甲陽猿橋之圖
歌川広重筆 江戸時代・19世紀
1枚 大判　錦絵

運慶と快慶の大日如来坐像

日時：11月15日（金）18:30 ～ 19:00
平成館大講堂
講師：浅見龍介（東洋室長）
14室で展示中の運慶作と推定される2体と快慶作の銘のある大日如来像を比べて、2人の作風、仏像に対する考え方の差について解説します。
＊関連展示：本誌前号6ページ参照

国宝 観楓図屏風

日時：11月26日（火）14:00 ～ 14:30
本館2室　国宝室
講師：遠藤楽子（出版企画室研究員）
晩秋の季節にあわせ、当館の名品「観楓図屏風」を鑑賞します。
＊関連展示：本誌3ページ参照

11月1日「古典の日」列品解説

①聖徳太子絵伝について

日時：11月1日（金）11:00 ～ 11:30　東洋館シアター
講師：沖松健次郎（絵画・彫刻室主任研究員）
日本仏教史上、宗派を問わず民間信仰に至るまで重視された聖徳太子。その生涯を絵画化した聖徳太子絵伝について紹介します。
＊関連展示：本誌11ページ参照

②日本陶磁の展開

日時：11月1日（金）14:00 ～ 14:30　本館13室
講師：齊藤孝正（上席研究員）
平安時代から江戸時代までの日本陶磁の展開を、東アジアにおける陶磁文化の交流という視点も加えて解説いたします。

③国宝　良源遺告

日時：11月1日（金）16:00 ～ 16:30　本館2室　国宝室
講師：田良島哲（調査研究課長）
平安時代の延暦寺を築いた高僧の書を読みます。
＊関連展示：本誌8ページ参照

④法隆寺献納宝物と聖徳太子伝承

日時：11月1日（金）18:30 ～ 19:00　法隆寺宝物館第4室
講師：三田覚之（工芸室研究員）
法隆寺献納宝物には聖徳太子にまつわる物語が幾つも伝えられています。今回は美術的な側面とともに、作品と伝承世界との関わりについて解説します。
＊関連展示：本誌11ページ参照

PART 2

五感を使った美術体験

ワークショップ

事前申込制　［往復はがき、ウェブサイトフォーム］

ファミリーワークショップ

「屏風体験！」

風をよける、空間を仕切る、部屋を飾る。
これらすべて屏風の役割。屏風はかつて実際に使われていたんです。そういわれるといろいろな疑問がわいてきます。
……どのように屏風を使っていたの？展示室ではなく部屋に置いたら屏風はどう見えるの？
東京国立博物館自慢のお茶室で実際に体験してみましょう！
キヤノン株式会社と京都文化協会が推進する「綴プロジェクト」で作られた高精細複製品を使い、屏風や日本の伝統文化を身近に感じていただくワークショップです。

日時：11月2日（土）　①10：00～12：00　②14：00～16：00
会場：本館展示室および応挙館
対象：小学生～中学生およびそのご家族
定員：各回10組（応募者多数の場合は抽選）
参加費：無料（ただし、当日の入館料は必要）
主催：東京国立博物館、キヤノン株式会社
申込方法：当館ウェブサイトの申込フォームか往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に（1）参加者全員の氏名・ふりがな・年齢、（2）代表者の郵便番号・住所、（3）電話番号、（4）希望の回（①午前・②午後のいずれか）を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記申込先にお送りください。
申込先：〒110-8712　東京都台東区上野公園13-9
東京国立博物館　教育普及室「屏風体験！」係
申込締切：10月17日（木）必着

実演とトークショー

特集陳列「日本の仮面　能面　是閑と河内」関連イベント「面打」

能に用いられる面（おもて）をつくることを「面を打つ」といいます。
面打師（めんうち）・新井達矢（あらいたつや）氏による面打実演、トークショーをそれぞれ開催します。
通常、能で用いるものとしてご覧いただくことの多い面の、造形作品としての美しさ、おもしろさをお楽しみください。

①実演

面を打つ過程の一部を実際にご覧いただきます。面打の様子を見る貴重な機会です。細やかな作業、面を打つ音をご自身で感じてください。
日時：11月24日（日）　10：30～12：00　（開場 10:00）

②トークショー

面打の過程を映像でふり返りながら、面打師と彫刻担当研究員がそれぞれの視点で面の魅力を語ります。これまでと違う視点で面と向き合えるのではないでしょうか。
日時：11月24日（日）　14：00～15：30　（開場 13:30）

会場：平成館大講堂
定員：350名
参加費：無料（ただし、当日の入館料は必要）
申込方法：往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に（1）参加者全員（2名まで）の氏名・ふりがな・年齢、（2）代表者の郵便番号・住所、（3）電話番号、（4）希望の回（①実演もしくは②トークショー）を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記申込先にお送りください。
＊1枚のはがきで、①②のどちらか一方、最大2名まで申込可。
申込先：〒110-8712　東京都台東区上野公園13-9
東京国立博物館　教育普及室「面打①実演もしくは②トークショー」係
申込締切：①②ともに11月11日（月）必着

PART 3

あなたの鑑賞をサポート

ボランティアによる事業

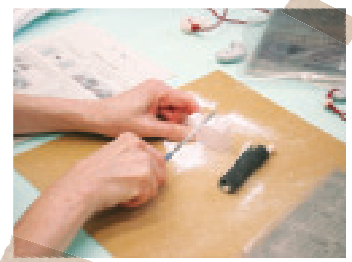
事前申込制　［往復はがき、ウェブサイトフォーム］

アートスタジオ

「勾玉作り体験」

ボランティアデー特別企画。通常こどもたちを対象に実施している定番プログラム「勾玉作り」を大人の方に体験していただきます

日時：①12月7日（土）11：00～11：50　②12月8日（日）11：00～11：50
＊いずれも同じ内容


形の線どおりに石を削っていきます

会場：本館地下教育普及スペース
　みどりのライオン
対象：一般（高校生以上）の方
費用：無料（ただし、当日の入館料は必要。高校生と満18歳未満および満70歳以上の方は入館無料）
定員：各回15名程度（応募者多数の場合は抽選）
申込方法：当館ウェブサイトの申込フォームか往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に（1）参加者全員（2名まで）の氏名・ふりがな・性別・年齢、（2）参加者全員の郵便番号・住所（2名の場合は、それぞれの住所を必ず明記してください。）、（3）代表者の電話番号、（4）希望の回（①12月7日・②12月8日のいずれか）を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記申込先にお送りください。＊1枚のはがきで①②のどちらか一方、最大2名まで申込可。
申込先：〒110-8712　東京都台東区上野公園13-9
東京国立博物館　ボランティア室「ボランティアデー勾玉作り」係
申込締切：11月11日（月）必着

東博ボランティアデー 2013

「もっと好きになるトーハク」

今年も国際ボランティアデーにちなんで、12月7日（土）・8日（日）に「東博ボランティアデー」を開催します。
博物館に来て、どのように見て回ろうか、どうすごそうか、迷ったことはありませんか？皆さんに博物館での時間を「より楽しく」「より快適に」すごしていただくために活動しているのが、当館の生涯学習ボランティアです。館内各所でのご案内や東洋館オアシスの運営、本館2階で配布しているパンフレット「日本美術の流れ」の印刷や、イベントやワークショップのお手伝いもおこなっています。
ボランティアデーでは、通常の活動に加え、二日間にわたり、ボランティアによるすべてのガイドツアーなどを計画中です。東博ボランティアによるおもてなしでもっとトーハクを好きになってみませんか？
あわせて、平成26年度生涯学習ボランティア募集の説明会もおこないます。
詳細は当館ウェブサイト、博物館ニュース12・1月号でご案内します。

＊「東洋館シアター」とは、東洋館 TNM&TOPPAN ミュージアムシアターのことです。
＊事前申込プログラムにお申込いただいた方には、当落に関わらず連絡いたします。実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先に電話でお問い合わせください。電話 03-3822-1111（代表）
＊各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。

イベント開催のお知らせ

東京国立博物館　クリスマスコンサート ～チャイコフスキーの最高傑作～

日時：2013年12月8日（日）開場13：30 開演14：00
会場：平成館ラウンジ
出演：唐津健（チェロ）、鷲宮美幸（ピアノ）、松実健太（ヴァイオリン）
曲目：チャイコフスキー：ピアノ三重奏曲　イ短調　作品50「偉大なる芸術家の生涯」ほか
料金：5,000円　友の会割引　4,500円　全席自由
＊当日は、コンサートチケットで総合文化展をご観覧いただけます。
主催：東京国立博物館　サロン・ド・ソネット

〈チケットのお求め方法〉

○当館正門チケット売場での販売
受付時間：開館日の9：30～閉館の30分前まで
（月曜休館　ただし10/14、11/4は開館　10/15、11/5は閉館）

○電話予約販売
申込先：東京国立博物館　総務課イベント担当　TEL：03-3821-9270
受付時間：月曜日～金曜日　9：30～17：00（土日・祝休日は除く）
引換方法：公演当日、9：30～当館正門チケット売場にて現金引換え
＊詳細は、当館ウェブサイトをご覧ください。

第10回　台東区の伝統工芸職人展

東京国立博物館のある台東区は、江戸文化が栄えた町として知られています。下町の歴史と風土の中で育まれ受け継がれてきた様々な伝統工芸の製作実演を今年も行います。職人の本物の技と手づくりのぬくもりをご覧ください。

日時：2013年11月12日（火）～17日（日）9：30～17：00
会場：東京国立博物館　平成館ラウンジ
料金：無料（ただし、当日の入館料は必要）
主催：台東区　共催：東京国立博物館
協力：台東区伝統工芸振興会、台東伝統文化振興会
お問合せ：台東区役所　文化産業観光部産業振興課　TEL：03-5246-1131

正門の再開発　進行中です

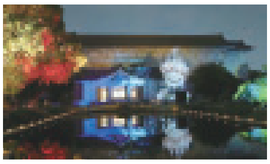
博物館正門を再開発しています。ミュージアムショップや休憩コーナーを備えた無料施設、チケット売場・インフォメーション等を新たに設置します。完成は平成26年3月の予定です。しばらくの間、ご不便をおかけいたしますが、新しい正門にどうぞご期待ください。

正門施設完成イメージ

創エネ・あかりパーク®2013

上野公園と周辺の博物館・美術館で開催する光の祭典「創エネ・あかりパーク®2013」にトーハクも参加します！
期間中は特別夜間開館し、本館へのスペシャルライトアップを実施します。美しい明かりに彩られた博物館で、秋の夜長をお楽しみください。

期間：11月1日（金）～11月4日（月・休）
＊11月1日（金）～11月3日（日・祝）20:00まで開館（入館は19:30まで）
＊11月4日（月・休）18:00まで開館（入館は17:30まで）
参加費：無料（ただし、当日の入館料は必要）
主催：「創エネ・あかりパーク2013」実行委員会

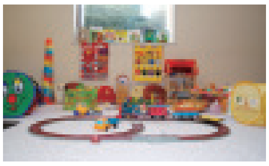


参考イメージ
写真提供：（株）石井幹子デザイン事務所

託児サービス　大好評実施中です

今年7月より開始した託児サービスを秋の特別展でも実施いたします。0歳児には1人専属でつく「マンツーマン託児」、1歳児には2名様につき1人、2歳児以上は3名様につき1人のシッターがお子様をお世話します。

実施日時：10月9日（水）・12日（土）・13日（日）・23日（水）・26日（土）・27日（日）、11月6日（水）・9日（土）・10日（日）・20日（水）・23日（土）・24日（日）各回12:30～15:00
料金：0～1歳児2,000円　2歳児以上1,000円（事前予約制）
ご予約・お問合せ：イベント託児・マザーズ
電話：0120-788-222
＊定員に限りがございますので、お早めのご予約をおすすめいたします。
＊詳細は、当館ウェブサイトをご覧ください。



託児所イメージ

「日本美術の祭典」ご招待券プレゼント

本誌5ページでご紹介した日本美術の祭典（「クリーブランド美術館展」・「人間国宝展」（当館開催1月15日〈水〉～2月23日〈日〉）、特別展「世紀の日本画」（東京都美術館開催1月25日〈土〉～4月1日〈火〉）のご招待券を抽選で10組20名様にプレゼントします。締切は11月25日（月）必着。

⦿プレゼントの応募方法
はがきに住所、氏名（ふりがな）、性別、年齢、職業、ならびにこの号で一番面白かった企画をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。
〒110-8712　台東区上野公園13-9
東京国立博物館　広報室「ニュース10・11月号」プレゼント係

東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会員制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同いただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年（入会月の翌年同月末日まで）有効。
賛助会員には、特別会員と維持会員の2種類があります。
＊お申込は随時受け付けております。

⦿年会費
特別会員　100万円以上
維持会員　法人　20万円／個人　5万円

⦿主な特典
●特別展の内覧会にご招待
●東京国立博物館ニュースの送付

⦿お問合せ
東京国立博物館総務部　賛助会担当
電話 03-3822-1111（代）

東京国立博物館賛助会員　2013年8月27日現在

特別会員

日本電設工業株式会社 様
株式会社 コア 様
大日本印刷株式会社 様
毎日新聞社 様
株式会社 大林組 様
朝日新聞社 様
株式会社 ミロク情報サービス 様
読売新聞社 様
三菱商事株式会社 様
凸版印刷株式会社 様
ブルガリ ジャパン株式会社 様
公益財団法人 東芝国際交流財団 様
日本写真印刷株式会社 様
日本ロレックス株式会社 様
サロン・ド・ソネット 様
シティバンク銀行株式会社 様
株式会社 ミュージアムスタイルカフェ 様
株式会社 東芝 様
株式会社 みずほ銀行 様
一般財団法人 東京国立博物館協力会 様

維持会員団体

TBS 様
株式会社 精養軒 様
株式会社 三冷社 様
株式会社 ホテルオークラエンタープライズ 様
株式会社 東京美術 様
株式会社 鶴屋吉信 様
日本通運株式会社 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
松本建設株式会社 様
株式会社 古美術藪本 様
謙慎書道会 様
近代書道研究所 様
日本畜産興業株式会社 様
株式会社 東京書芸館 様
インフォコム株式会社 様
学校法人 大勝院学園 様
有限会社 システム設計 様
株式会社 インターネットイニシアティブ 様
株式会社 小西美術工藝社 様
公和図書株式会社 様
有限会社 ギャラリー竹柳堂 様
株式会社 育伸社 様
株式会社 モリサワ 様
アミ開発有限会社 様
光村図書出版株式会社 様
株式会社 アクト・ヒューマンリード 様
キョーリン製薬ホールディングス株式会社 様
株式会社 資生堂 様
株式会社 グラスバウハーン・ジャパン 様
株式会社 デュナミス 様
キッコーマン株式会社 様
公益社団法人 創玄書道会 様
朝陽書道会 様
一般社団法人 書芸文化院 様
株式会社 都市環境企画 様
全日本空輸株式会社 様
楽天銀行株式会社 様
株式会社 ケンエレファント 様

維持会員個人

木村 則子 様	櫛田 良豊 様	松本 澄子 様	西岡 康宏 様	田中 千秋 様	秋元 文子 様	福井 一夫 様	加藤 康幸 様	杉山 恭規 様	柳村 衛 様	野本 陽代 様	李 雲莉 様
髙木 聖鶴 様	長谷川 英樹 様	是常 博 様	友景 紀子 様	小西 暐也 様	土師 詔三 様	軽部 由香 様	安田 格 様	山田 浩一 様	樺澤 剛志 様	福田 倫子 様	供田 扶美 様
早乙女 節子 様	池田 孝一 様	上野 孝一 様	東野 治之 様	澁谷 洋志 様	上塚 建次 様	酒井 弘文 様	原田 清朗 様	笹森 美子 様	小日向 志乃 様	佐藤 芙蓉 様	福武 正廣 様
伊藤 信彦 様	木村 剛 様	北山 喜立 様	辻 泰二 様	清川 勉 様	鏡 賢志 様	木越 純 様	筑紫 みずえ 様	高橋 明子 様	佐藤 貴士 様	青山 慶示 様	江幡 真史 様
井上 萬里子 様	観世 あすか 様	山田 泰子 様	竹下 佳宏 様	仙石 哲朗 様	高久 真佐子 様	井上 保 様	鳥山 玲 様	村井 明美 様	横田 隆義 様	谷内 英一 様	石原 正之 様
籔内 匡人 様	星埜 由尚 様	栄田 陸子 様	野澤 智子 様	中井 伸行 様	渡邊 雪絵 様	田中 信 様	山形 哲也 様	久保田 哲暁 様	新保 幸男 様	杭迫 柏樹 様	竹内 和世 様
服部 悦子 様	久保 順子 様	絹村 安代 様	坂田 浩一 様	田中 望 様	佐藤 禎一 様	岡 靖子 様	尾﨑 邑鵬 様	小塚 泰博 様	山田 伊知郎 様	稲川 コウ 様	岡野 一昭 様
岩沢 重美 様	渡辺 章 様	岡田 博子 様	池谷 正夫 様	三井 速雄 様	田中 榮二 様	古川 晴紀 様	山本 雅司 様	星 八郎 様	田中 章 様	樋口 潁一 様	真瀬 宏司 様
高田 朝子 様	稲垣 哲行 様	臼井 生三 様	脇 素一郎 様	坂詰 貴司 様	谷川 紀彦 様	菊地 昌弌 様	倉片 康雄 様	星 弘道 様	藤巻 綾子 様	吉永 喜代子 様	中山 英典 様
齋藤 京子 様	帖佐 誠 様	津久井 秀郎 様	秦 芳彦 様	吉田 靖 様	山口 隆司 様	岩本 光雄 様	栗山 哲夫 様	熊谷 潤子 様	中野 俊介 様	長嶋 益子 様	伊藤 彰信 様
齋藤 邦裕 様	飯岡 雄一 様	川澄 祐勝 様	木谷 騏巳郎 様	松本 雅彦 様	原 一之 様	山本 隆幸 様	山根 宗芳 様	西永 義久 様	手塚 眞由美 様	富山 仁美 様	小林 浩和 様
和田 喜美子 様	峯村 協成 様	神通 豊 様	髙梨 兵左衛門 様	篠田 喜弘 様	会田 健一 様	鈴木 春朝 様	梅本 聖 様	田中 節山 様	井出 宗則 様	鴇 晃秀 様	
佐々木 芳絵 様	牧 美也子 様	永久 幸範 様	渡久地 ツル子 様	片山 正紀 様	桐畑 政義 様	山上 知子 様	榎本 享世 様	髙木 聖雨 様	土屋 和彦 様	藤本 勝司 様	ほか68名3社、順不同
藤原 紀男 様	髙瀬 正樹 様	五十嵐 良和 様	汐崎 浩正 様	伊藤 喜雄 様	相良 多恵子 様	名取 幸二 様	田頭 一舟 様	田浦 宏己 様	碓田 榮一 様	冨士原 亨 様	
中川 俊光 様	坂井 俊彦 様	石川 公子 様	堤 勝代 様	井上 雄吉 様	熊谷 勝昌 様	増渕 信義 様	岡田 良雄 様	山中 翠谷 様	加納 隼人 様	髙山 真行 様	
関谷 徳衛 様	寺浦 信之 様	池田 真 様	平井 千惠子 様	大森 雅子 様	鈴木 徹 様	要 英範 様	阿部 和加子 様	荒木 章 様	林 和人 様	渡辺 婦美 様	
高橋 守 様	高木 美華子 様	青山 千代 様	髙谷 光宏 様	細川 要子 様	今里 美幸 様	樽本 英信 様	井茂 圭洞 様	稲岡 稔 様	清水 透石 様	桂木 明夫 様	
小澤 桂一 様	古屋 光夫 様	藤崎 英喜 様	青山 道夫 様	錦織 伸一 様	櫻井 恵 様	本條 陽子 様	髙味 良信 様	関口 大志 様	渋谷 誠 様	鈴木 渓泉 様	
上久保 のり子 様	根田 穂美子 様	永田 実香 様	髙橋 靜雄 様	鈴木 幸一 様	伊佐 健二 様	西原 賢一 様	廣田 穣 様	山口 登 様	持田 隼人 様	今村 正 様	

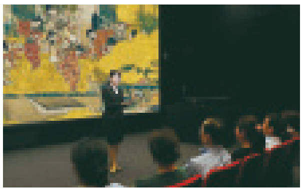
TOPICS

TNM&TOPPAN ミュージアムシアター

10月5日(土)～12月23日(月・祝)

⦿VR作品『洛中洛外図屏風と岩佐又兵衛』

浮世絵の創始者ともいわれる岩佐又兵衛による洛中洛外図屏(舟木本)の人物表現を、大スクリーンに超拡大表示でご紹介。秋の特別展「京都―洛中洛外図と障壁画の美」をより楽しむための予習として最適です。



監修：東京国立博物館　制作：凸版印刷株式会社

●上演時間: 水・木・金　12:00[*2] 13:00　14:00[*2] 15:00　16:00[*1]
　　　　　土・日・祝・休日　11:00　12:00[*2] 13:00　14:00[*2] 15:00　16:00[*1]

[*1] 10月20日(日)まで上演　[*2] 12月1日(日)まで上演
＊特別展「京都」のチケット(半券でも可)提示により、お一人様一回限り100円引きとさせていただきます。

10月23日(水)～12月23日(月・祝)

⦿VR作品『よみがえる江戸城　―本丸御殿・松の廊下から天守閣へ―』

江戸幕府の中枢、徳川将軍家の居城として偉容を誇った江戸城とは、どのような姿だったのか。豪華絢爛な本丸御殿大広間を通り抜け、忠臣蔵でお馴染みの松の廊下から天守へと、往時の江戸城を巡ります。

●上演時間: 水・木・金・土・日・祝・休日　12:00[*3] 14:00[*3] 16:00

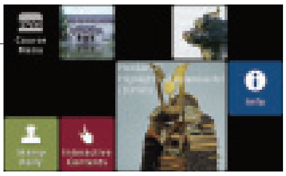
[*3] 12月4日(水)～12月23日(月・祝)のみ上演

料金：一般・大学生・高校生：500円、小学生・中学生：300円、未就学児、障がい者及び同伴者1名：無料(1作品/1回あたり)

＊大学生以上は総合文化展当日券(600円)とのセット購入で100円割引
＊上演時間約30分(当日予約制)
＊詳細はウェブサイトをご覧ください。URL http://www.toppan-vr.jp/mt/
＊1月2日(木)～3月2日(日)も引き続き上演の予定。上演時間の詳細は、本誌次号でお知らせします。

iOS版トーハクなび

東京国立博物館の総合文化展の見学コースを紹介するアプリケーション「トーハクなび」。これまでAndroid端末用のみのご提供でしたが、iOS端末用に「トーハクなび(iOS Lite版)」を公開します。「iOS Lite版」には、Android版で人気の高い「日本美術の流れコース」と「建物めぐりコース」の2コース、3つの体験型コンテンツを収録します。また、すでにiOS版アプリとして公開している「法隆寺宝物館30分ナビ」へもリンクします。「トーハクなび」はご自身の端末にアプリケーションをダウンロードしてお楽しみいただけます。どうぞご利用ください。



iOS Lite版は日本語・英語対応です。iOS Lite版は「App Store」から、Android版は「Google Play」からダウンロードできます。「トーハクなび」で検索してください。

資料館より - エフェメラ類の収集・公開について

エフェメラ(Ephemera)とは、カゲロウのような1日しか存在しえないものを意味するギリシャ語を起源とする図書館用語で、使用のあとは捨てられ長期に保存されることがないような一時的な印刷物や筆記物を指します。
資料館では、現在、当館が作成したエフェメラ類について網羅的に収集・保存することにしています。収集対象は、展覧会のチラシ、チケット、ポスター、展示解説資料や、教育普及活動にともなう配布物などです。これらは、集積されることにより館の活動を記録する貴重な資料となるはずです。チラシや特集陳列のパンフレット類の一部は閲覧室で新たにご覧いただけるようになりました。

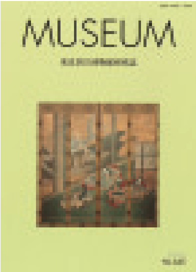
ボランティア募集のお知らせ

平成26年度　生涯学習ボランティア募集

当館では、来館者の方がより東京国立博物館に親しみをもち、心に残る体験をしていただくために、ボランティアによるさまざまな活動をおこなっています。3年間の活動期間の満了にともない、新たに平成26年4月からボランティアとして活動される方を50名程度募集します。詳細はウェブサイト、本誌12・1月号でご案内します。また、12月7・8日の「東博ボランティアデー」(詳細は本誌13ページ)でも、応募を検討されている方への説明会をおこないます。気軽にご参加ください。
お問合せ　当館ボランティア室　電話03-3822-1111(代表)

『MUSEUM』645号(2013年8月15日発行)の掲載論文

①「美術館における視覚障害者のためのアクセシビリティ向上について　―イギリスの美術館の事例から―」米山茉未(秋田市立千秋美術館)
②「《作品紹介》土佐光起筆〈源氏物語図屏風〉について」本田光子(当館絵画・彫刻室)
③「《資料紹介》森鷗外自筆手稿〈上野公園ノ法律上ノ性質〉」田良島哲(当館調査研究課長)
定 価：1,500円
お問合せ：当館ミュージアムショップまたは中央公論事業出版(電話03-3535-1321)



国立博物館の展示案内

〈京都国立博物館〉
特別展覧会「魅惑の清朝陶磁」 10月12日(土)～12月15日(日)

〈奈良国立博物館〉
特別展「第65回　正倉院展」 10月26日(土)～11月11日(月)

〈九州国立博物館〉
特別展「御三家筆頭 尾張 徳川家の至宝」 10月12日(土)～12月8日(日)

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会　年会費 1万円
発行日から1年間有効

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でもご覧いただけます。特別展に関しては、観覧券を12枚配布。そのほか、本誌の定期郵送などさまざまな特典があります

パスポート　一般4,000円　学生2,500円
発行日から1年間有効

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でも、お好きな6つの特別展を1回ずつ計6回までご覧いただけます
＊建物の改修等のため、京都国立博物館の平常展示館、東京国立博物館の黒田記念館など一部展示館を閉館しています。

⦿お申込みは当館窓口、郵便振替または当館ウェブサイトで

【郵便振替でのお申込】
●振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書でご記入ください
●振替用紙の半券が領収書になります。会員証、パスポートが届くまで保管しておいてください
●振替手数料はお客様の負担となります
●ご入金確認日より会員証、パスポートがお手元に届くまで2週間程かかります

友の会
加入者名(振替先)東京国立博物館友の会
口座番号 00160-6-406616

パスポート
加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート
口座番号 00140-1-668060
●振替用紙には申込区分(一般か学生)、学生の場合は、生徒手帳か学生証のコピーを郵送またはFAXでお送りください

⦿お問合せ
電話03-3822-1111(代) 友の会・パスポート担当
FAX 03-3821-9680

東京国立博物館ニュース定期郵送のご案内

本誌の定期購読をご希望の方は、年間(6冊分)1,000円の送料・事務費のご負担でご自宅にお届けします

⦿お申込は郵便振替で
加入者名(振替先)東京国立博物館ニュース
口座番号 00100-2-388101
●振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を楷書でご記入ください
●振替用紙の半券が送料の領収書になります。1年間保管しておいてください
●振替手数料はお客様のご負担となります
●次号より送付ご希望の場合、締切は2013年11月10日です

東京国立博物館メールマガジン、Twitter、facebookのご案内

展示・催し物の情報をいち早くお届けします
●ご登録、アクセスは、http://www.tnm.jp/ から

東京国立博物館利用案内

開館時間	9:30～17:00 2013年3月～12月の特別展開催期間中の毎週金曜日と11月2日(土)、3日(日)は20:00まで開館 2013年4～9月の土日祝休日と11月4日(月・休)は18:00まで開館(入館は閉館の30分前まで)
休館日	原則として月曜日(祝日・休日にあたる場合は開館、翌火曜日休館)、年末年始(2013年12月24日～2014年1月1日)。

総合文化展観覧料金
一般600(500)円、大学生400(300)円

●(　)内は20名以上の団体料金
●障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください
●満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方の総合文化展観覧は無料です。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください

＊各種イベント等のお申込みに際してご提供いただいた個人情報は、当該の目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします

　表紙：「虫豸帖」　増山雪斎筆　江戸時代・19世紀(詳細は7ページ)

東京国立博物館ニュース　第721号　平成25年10月1日発行（隔月1回 偶数月発行）　編集／東京国立博物館 広報室　©東京国立博物館
発行／東京国立博物館　〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9　TEL 03-3822-1111（代表）＊ウェブサイト〈URL〉http://www.tnm.jp/　独立行政法人国立文化財機構ウェブサイト〈URL〉http://www.nich.go.jp　デザイン／D_CODE　制作／凸版印刷株式会社

東京国立博物館 2013年10・11月の展示・催し物

2013・10

日	内容
1 火	特別展「上海博物館　中国絵画の至宝」 [列]「描かれた考古遺物ー日本美術と近代考古学のあいだー」14:00 本館特別2室*1 [建]11:00
2 水	[浮]14:00
3 木	
4 金	夜間開館（20:00まで） [法]15:00
5 土	[樹]13:30 [本]14:00 [W]「考古学者に挑戦！」10:00、14:00　平成館小講堂*2
6 日	[浮]14:00
7 月	休館日
8 火	トーハクくん誕生日 特別展「京都ー洛中洛外図と障壁画の美」 [列]「近世・近代の描かれた考古遺物ー古物・好古と考古学ー」14:00　本館特別2室*1
9 水	ユリノキちゃん誕生日 [樹]13:30 託児
10 木	[本]14:00 [庭]14:00
11 金	夜間開館（20:00まで） 【上海】リレートーク①18:00　東洋館8室*3 [英]14:00
12 土	[講]【上海】「上海博物館-中国絵画の至宝」13:30　平成館大講堂*3 [英]14:00 [陶]14:30 託児
13 日	[講]「清時代の書ー日本と中国の交流ー」13:30　平成館大講堂*4 [近]13:00 [浮]14:00 託児
14 月・祝	
15 火	休館日
16 水	【京都】秋のスペシャルナイト　18:00～21:00*5
17 木	【京都】秋のスペシャルナイト　18:00～21:00*5 [彫]15:00
18 金	夜間開館（20:00まで） [法]15:00
19 土	[講]【京都】「400年前の京都に遊ぶーForward to the Past」13:30　平成館大講堂*2 [W]「清時代の書に挑戦！」10:00、14:00　みどりのライオン（本館地下教育普及スペース）*6 [建]11:00 [本]12:00、14:00 [樹]13:30 [法]15:00
20 日	[W]「清時代の書に挑戦！」　10:00、14:00　みどりのライオン（本館地下教育普及スペース）*6 [茶]12:30、14:00 [考]14:30
21 月	休館日
22 火	[列]「洛中洛外図を味わう」14:00　平成館大講堂*1 [建]11:00
23 水	[樹]13:30 託児
24 木	[本]14:00
25 金	夜間開館（20:00まで） 【上海】リレートーク②18:00　東洋館8室*3
26 土	秋の庭園開放 [陶]14:30 託児
27 日	[彫]11:00 [庭]14:00 [浮]14:00 託児
28 月	休館日
29 火	[列]「清時代の書ー碑学派ー」14:00　平成館企画展示室*1
30 水	
31 木	

※【上海】：特別展「上海博物館ー中国絵画の至宝」関連事業
【京都】：特別展「京都ー洛中洛外図と障壁画の美」関連事業

2013・11

日	内容
1 金	夜間開館（20:00まで） 古典の日 [列]「聖徳太子絵伝について」11:00 東洋館シアター*1 [列]「日本陶磁の展開」14:00 本館13室*1 [列]「国宝 良源遺告」16:00 本館2室 国宝室*1 [法]15:00*1 [列]「法隆寺献納宝物と聖徳太子伝承」18:30 法隆寺宝物館第4室*1 創エネ・あかりパーク®2013
2 土	夜間開館（20:00まで） [W]「屏風体験！」①10:00 ②14:00 本館・応挙館*7 [樹]13:30 [本]14:00
3 日	夜間開館（20:00まで） [講]【京都】「舟木本洛中洛外図ー浮世絵は京都で生まれた」13:30　平成館大講堂*2 [作]13:30*8 [浮]14:00
4 月・祝	開館延長（18:00まで）
5 火	休館日
6 水	[浮]14:00 託児
7 木	
8 金	夜間開館（20:00まで） 【上海】リレートーク③18:00　東洋館8室*3 [英]14:00
9 土	[講]「増山雪斎の虫豸帖とファーブルの昆虫記」13:30　平成館大講堂*1 [英]14:00 [陶]14:30 託児
10 日	[近]13:00 [浮]14:00 託児
11 月	休館日
12 火	[列]「浮世絵に描かれた風景」14:00　本館10室*1 [建]11:00 台東区の伝統工芸職人展
13 水	[樹]13:30
14 木	[本]14:00 [庭]14:00
15 金	夜間開館（20:00まで） [列]「運慶と快慶の大日如来坐像」18:30　平成館大講堂*1 [法]15:00
16 土	[建]（手話通訳付）11:00 [本]12:00、14:00 [樹]13:30 [法]15:00
17 日	[茶]12:30、14:00 [考]14:30
18 月	休館日
19 火	[建]11:00
20 水	託児
21 木	[彫]15:00
22 金	夜間開館（20:00まで） 【上海】リレートーク④18:00　東洋館8室*3
23 土・祝	[講]「聖徳太子絵伝の世界」13:30　平成館大講堂*1 [陶]14:30 託児
24 日	特集陳列関連イベント「面打」①実演　10:30　②トークショー　14:00　平成館大講堂*7 [彫]11:00 [庭]14:00 [浮]14:00 託児
25 月	休館日
26 火	[列]「国宝 観楓図屏風」14:00　本館2室　国宝室*1
27 水	[樹]13:30
28 木	[本]14:00
29 金	夜間開館（20:00まで）
30 土	（12/1まで）（12/8まで）

＊1　詳細は本誌12ページ　＊2　事前申込制。締切ました　＊3　詳細は本誌2ページ　＊4　詳細は本誌3ページ　＊5　有料イベント。詳細は本誌4ページ　＊6　事前申込制。詳細は本誌3ページ　＊7　事前申込制。詳細は本誌13ページ　＊8　事前申込制。10/7締切。詳細は本誌前号13ページ、またはウェブサイト

[講]＝月例講演会、特別講演会、記念講演会など
[列]＝列品解説
[W]＝ワークショップ、ファミリーワークショップなど
[本]＝ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所：本館1階エントランス
[浮]＝ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所：本館1階エントランス
[陶]＝ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所：本館1階エントランス
[彫]＝ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所：本館1階エントランス
[樹]＝ボランティアによる樹木ツアー（庭園開放時は、前庭と北側庭園の樹木をご案内します。）、集合場所：本館1階エントランス
[考]＝ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所：平成館考古展示室入口
[法]＝ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所：法隆寺宝物館1階エントランス
[茶]＝ボランティアによる応挙館での茶会、集合場所：本館1階エントランス（参加費500円、先着15名、各回開始30分前に集合場所で整理券配布）
[庭]＝ボランティアによる庭園茶室ツアー　集合場所：本館1階エントランス（先着20名、開始30分前に集合場所で整理券配布）
[英]＝ボランティアによる英語ガイド（日本美術の流れ）、集合場所：本館1階エントランス
[建]＝ボランティアによるたてもの散歩ツアー、集合場所：本館1階エントランス
[作]＝ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ
[近]＝ボランティアによる近代美術ガイド、集合場所：本館1階エントランス
託児＝託児サービス実施日

※屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。　※各事業に関する詳細は、本誌内記事またはウェブサイトでご確認ください。